令和６年度

第４回　学校運営協議会

令和７年２月１４日（金）

９：１０～１１：３０（会議室）

【令和６年１２月１１日　　第３回　学校運営協議会の様子】

【 次第 】　司会：教頭

１　開催要件の確認

２　会長挨拶

３　校長挨拶

４　授業参観（９：１５～９：３５）

★温かい雰囲気の中、子供たちが友達と一緒に課題を解決したり互いの考えを伝え合ったりして意欲的に学習に取り組む姿を御覧ください。

（９：３５～９：５０　休憩）

５　議長選出

６　前回の会議録の確認

７　熟議　　進行：議長　（９：５０～１０：５０）

≪本年度のまとめと来年度に向けて≫

① 令和７年度の伊佐見小の学校運営基本方針について（校長）

② 令和７年度の教育計画について（教務）

③ 令和６年度の学校運営協議会の評価について（教頭）

④ 令和７年度の学校運営協議会の取組について（教頭）

８　報告

〇令和６年度夢育やらまいか事業の報告（教頭）

〇学校支援活動（ボランティア活動）について（澤木、村上コーディネーター）

９　連絡事項

〇令和７年度　運営協議会の会の持ち方（司会・挨拶）について

〇令和７年度の委員について

〇６年生を送る会（2/28（金））の御参観について

（２月２８日（金）　９：１５～１０：２０　伊佐見小学校体育館にて）

〇卒業式・入学式の御参列のお願い

令和6年度　第3回　伊佐見小学校運営協議会　会議録（要点記録）

１　開催日時　　令和6年12月11日（水）　9時10分から11時00分まで
２　開催場所　　伊佐見小学校　会議室
３　出席委員　　伊代田　尚志（学校支援コーディネーター兼任）、古橋　廣一、嶋野　直輝（学校支援コーディネーター兼任）、中村　勝信、小粥　裕理、池谷　荘一、塚本　昌代、西尾　純
４　欠席委員　　村上　久美子（学校支援コーディネーター兼任）、袴田　則司
５　オブザーバー　　伊佐見協働センター
６　学　　校　　髙須　祥郎（校長）、米山　由紀子（教頭）、川合　弘志（教務主任）、澤木　美加（ＣＳ担当教諭）、間渕　仁美（ＣＳディレクター）
７　傍　聴　者　　なし
８　会議録作成者　　ＣＳディレクター　間渕　仁美
９　議長の選出
第1回学校運営協議会での決定通り、古橋委員が議長を務めることを確認した。
10　協議事項
≪2学期の様子と来年度に向けて≫　～学校評価アンケートをもとに～
みんなが「大好き！」な伊佐見小学校を目指して
11　会議記録
≪2学期の様子と来年度に向けて≫　～学校評価アンケートをもとに～
みんなが「大好き！」な伊佐見小学校を目指して

川合教務主任より、2学期のアンケート結果について説明があった。その中の、児童への「伊佐見小学校に楽しく通っている」という質問で、約1割の児童が「あまりそう思わない」または「全くそう思わない」と回答したとの結果に注目し、みんなが楽しく学校に通えるために大切にしたいことについて３グループに分かれて熟議し、意見を発表した。

【Aグループ：伊代田会長、小粥委員、塚本委員、澤木教諭】
・根本的に集団生活が苦手な子もいるので、そのような子には個別の部屋を設けるなどして対応する。個別の部屋に入っても、給食などのタイミングで友達が迎えに来てくれれば、教室に入りやすいのではないか。しかし、そのような部屋を設けないほうがよいのではないかという意見もある。
・個別に対応するとしても人手が足りていない。
・最近の子供は強く叱られることが少なく、叱られ慣れていないのではないか。
・保護者がボランティアなどで学校に来る姿が、良いきっかけになるかもしれない。
・今は子供たちも様々な情報を手に入れることができ、生き方もいろいろであると分かっている。そのような状況で100%を目指すのは難しく、90%を超えていれば良いのではないか。
・市の民生児童委員の研修でも、不登校の問題は家庭環境や学校などいろいろな原因がからみあっており、子供自身も原因が分からない、と言っていた。

【Bグループ：古橋副会長、中村委員、オブザーバー、川合教務主任】

・高学年になると、勉強が苦手、先生が嫌い・・・などとなるので、低学年のうちから学校が好きな子に育てていく。
・先生が何かその子の得意分野など取っ掛かりとなるものを見つけてあげ、ほかの子と仲良くできるように「仲人」役をする。

【C グループ：嶋野委員、池谷委員、西尾委員、米山教頭】
・学校に行きたくないというのは難しい問題で、原因はそれぞれの子供に聞くしかない。クラスによっては二者面談などを実施している。
・まずは、問題を解決させるところまでいかなくても、話を聞くだけでもいい。
・無理に聞き出そうとせず、回数を重ねて、理由が少しでも判明すればいい。

12　報 告 事 項

ボランティア活動計画について

澤木教諭と嶋野コーディネーターより 2 学期のボランティア活動の報告と 12 月のイベントの説明があった。

13　連 絡 事 項

米山教頭より、次回会議は 2025 年 2 月 14 日（金）午前 9 時 10 分から会議室で開催する旨の報告があった。

令和７年度　浜松市立伊佐見小学校グランドデザイン（案）

はままつ人づくり未来プラン「基本理念；描く夢や未来の実現」

「基本コンセプト；主体性、多様性･包摂性、信頼･協働」

＜目指す子供の姿＞　自分らしさを大切にする子供
他者と協働し、主体的に行動できる子供
自己調整しながら、粘り強く取り組む子供

＜湖東中学校区で目指す子供像＞

意欲をもって学び続ける子

～１２か年の学びと育ちをつなげる保幼小中一貫教育の推進～

＜学校教育目標＞　こころざしをもち　高め合う

＜目指す子供像＞　自立心と社会性を備えた未来の大人

【 ふかめる 】　自ら学びを進め、ともに深める子

【みとめあう】　ちがいを認め、生かし合う子

【 やりぬく 】　しなやかに、力強くやりぬく子

＜目指す学校像＞　安心して　精一杯学び合える　活力ある学校
伊佐見地区のシンボルとして地域を繋ぐ学校
～子供も大人もみんなで成長、みんなが幸せに～

ふかめる

- ○主体的に学ぶことができる授業
- ○他者との関わりを大切にする学習
- ○豊かな想像力の育成
- ○地域を学ぶ豊かな体験学習

- ・「めじから」の学習サイクル
- ・魅力ある単元構想
- ・学びのﾕﾆﾊﾞｰｻﾙﾃﾞｻﾞｲﾝ化
- ・ICTの活用と情報教育の推進
- ・キャリア教育の推進
- ・読書活動の啓発
- ・地域人材・教育資源の活用

↑

教務主任　研修主任　キャリア担当　情報教育推進リーダー

みとめあう

- ○温かく対等な人間関係づくり
- ○自分事として物事を捉え・考える
- ○心の醸成
- ○自己有用感の向上

- ・話合い活動の充実
- ・クラスミーティングの充実
- ・心の日、命の月間の実施
- ・自治的活動である委員会活動の充実
- ・児童理解の充実
- ・２大行事の充実
- ・挨拶運動の推進

↑

生徒指導　道徳推進　特別活動
発達支援教育CD　養護教諭

やりぬく

- ○失敗を恐れず、挑戦する心
- ○目標をもち継続した心と体づくり
- ○健康・安全意識の向上
- ○規則正しい生活習慣と食育

- ・レジリエンス教育の推進
- ・体力向上のための環境設定
- ・自分の命を守る安全教育
  〔家庭・地域・中学校との連携〕
- ・健康な心･体づくりのための食育の充実、けが・感染症の予防

↑

体育主任　安全教育　保健主事
養護教諭　栄養教諭

発達支援教育の理念（多様性･包摂性及び安心感）

キャリア教育の視点

育ちを支え、学びを広げる地域　**伊佐見コミュニティ・スクール**　人間形成の基礎をつくる家庭

【教育構想における３箇条】

1　伊佐見地区のシンボルたる存在として、「地域・保護者とともに伊佐見の子供を育てる」学校づくりを進める。
【みんなで成長、みんなが幸せ】【コミュニティ･スクールの推進】【情報発信】

2　発達支援教育の理念を基盤に、一人一人のよさを見付け、自己実現を支援する。【多様性・包摂性、安心感】

3　常にキャリア教育の視点を持ち、全教育活動を行う（中心となるのは教科指導及び特別活動）。
【キャリア教育、社会性】【授業構想、学び続ける教職員】

令和7年度　よりよい伊佐見小学校をめざして…

①自分事として、学びを進めることができるようにするため、研修を進める。

〇学習の意欲や必要感を持つことができるように、単元の導入を工夫する。
〇身に付けさせたい力を提示し、子供たちと共有する。
〇学習の進め方や形態など、自己決定ができる場を設定する。

②学級、学年の枠を超えてちがいを認め、生かし合うことができる子を育てる。

〇クラスミーティングを、学級内だけで行うのではなく、学級を解体して行い、いろいろな考えを聞く場を設ける。
〇年に３回、上級生と下級生が一緒に遊んだりレクリエーションをしたりする時間を設ける。

③６学年という異年齢構成を有効に捉え、上級生が自ら主体となって活動を牽引していく意識を高める。

〇１・６年、２・４年、３・５年のペア学年で遠足に出掛け、高学年が中心となってともに遊んだり、下級生の安全に気を払ったりする。
〇１年生は６年生に、２年生は５年生に教えてもらいながら、清掃に取り組む。３・４年生は、高学年に向けて、自分たちで清掃を進めることができるようにする。

④自分の目標に向けて、継続的に努力することができる子を育てる。

〇持久走記録会のコースや持ち方、練習方法を見直し、１回目の自分の記録から、どのくらい伸びたか実感することができるようにする。
〇年度初めに考えた「１年後のなりたい姿」や日常生活について振り返る時間「マイタイム（仮）」を、学期に２、３回程度、朝活動の時間に設ける。

⑤伊佐見地区のシンボルとして、地域をつなぐ学校を目指す。

〇１５０周年を迎える令和７年度。６月２０日に１５０周年記念集会を行い、校歌や「森の水車」を歌ったり、新しくなった水車のお披露目をしたりして、１５０周年を全校でお祝いする。また、この日を学校公開日とし、保護者の方に子供たちの様子を見ていただくとともに、地域の方や卒業生にも、新しい水車を御覧いただく。
〇光のシンフォニー終了後、伊佐見小の卒業生である鈴木のりたけさんの講演会を行う。保護者や地域の方も講演を聞いていただき、地域で１５０周年を祝うことができるようにする。

令和６年度　学校運営協議会　自己評価

＜本年度の目標＞

・保護者と学校の教育活動についての情報を共有しながら、子供たちのことを第一に考えた意見交換を行い、熟議を進めていくとともに、委員同士の信頼関係を深めていく。
・本年度に引き続き、ＣＳボランティアの活動を「子供たちの成長のために必要な活動」と捉え、さらに人材確保を進めるとともに、活動内容も広げていく。

＜評価項目１＞　学校運営の基本方針について熟議することができたか。

○　目指す子供像「ちがいをちからに変える　伊佐見の子」の育成に向け、発達支援教育の理念を根幹に据えた「ふかめる」「みとめあう」「やりぬく」を基に、目指す学校像に近づくよう頑張る教師の姿を知ることができました。新しく赴任した校長先生の目指す伊佐見小に向けて、リーダーシップを発揮してほしい等の意見がありました。
○　学校評価の結果や校長先生から学校の現状や課題などの説明を受け、限られた時間の中でも多くの意見が出され話し合うことができたと思います。
○　各委員が個人的な意見を遠慮なく発言できた。また、その意見を参加者が前向きにとらえることができていた。学校・地域・保護者それぞれの観点で意見を出し合い、熟議できた。
○　学校側で作成してくれたグランドデザインに基づき検討できたが、委員の理解によって異なる意見もあった。
○　校長の説明を基に各委員の意見を聴収するなど、形としてはできているが、実効性を持たせるには工夫が必要と思われる。
○　基本方針は多岐にわたるが、アンケートにより学校評価の要素としてよく追跡しており参考になる。アンケート結果による説明を基にグループに分かれて討議することで、多角的なあぶり出し、そして提案につながっていると思う。可能であれば、テーマを絞ったうえでワークシップによる配分を十分に取り、熟度の高いところまで協議できたらよいと思う。
○　議論はできたが、短時間で方針を全て理解することは難しく、熟議まで到達していない。
○　「人とのつながり」…ボランティア活動による地域の人たちとの直接的・間接的なかかわり、つながり、コラボレーションによる心の育成について熟議することができた。
○　保護者、教員、子供たちとのマッチングによる活動の検討の必要性と従来の内容の精査が必要だ思う。
○　グループに分かれて熟議し、すべての委員が発言でき、共有できた。（様々な角度からの意見があり、よかった。）

＜評価項目 2＞　承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

○　さくら連絡網の発信が充実しており、保護者、地域ボランティアが多くの場面に参加、力を貸してくださり、つながりが大きく強化されたと思います。
○　コーディネーターさん等、学校支援活動に大きな力を果たしてくださっております。おかげで運営委員は熟議もスムーズに進めることができています。
○　いろいろな意見を述べ合う中で、子供、子供たちを取り巻く環境をよりよくしたいという思いが共通していることを改めて認識し、来年度につながる一年になったと思います。
○　PTA と CS の連携強化、今後の活動方針や内容について話ができた。また、学校側にも子供たちが学校を好きになれるようなフォローや対応をお願いできた。具体的な決定はなかったが、前進したと思う。
○　レベルとしては、前進することができたと思う。
○　CSコーディネーターなどの力により、当面必要とされる部分についてはできていると思う。しかし、更なる進展を図るには、地域の持つ様々な資源の掘り起こしが必要と思われる。学校側のニーズと共に、協議会としても新たな提案ができるような情報収集やバックアップが課題となる。
○　地域ボランティアの皆様の御協力、御助力にたよっている活動が多いと思う。
○　教育活動の充実、先生の負担軽減を目指し、支援活動に取り組んだ。ボランティアの輪も少しずつ広がっているが、協議会として一定の方向性を持っているわけではなく、なかなか難しい。
○　熟議はできたと思うが、教育活動の充実、支援活動につながる（結果）までには時間が少ないと感じる。

＜評価項目3＞　協議会での協議結果について十分な情報発信を行ったか。

○　よいと思われる。
○　理解を深めるには、多くの人に「知ってもらう」ことが大切で、今年度は学校行事におけるボランティアや読み聞かせボランティア募集のチラシを店頭に掲げさせていただいたことで多少なりとも情報発信につながったのではと思います。
○　正しい情報を知ることにより、学校内での子供たちの様子を知ることができるため、ボランティアに来てくれた保護者に対して、必要な発信を行った。
○　協議会での協議結果が主任児童委員研修で近校の方との情報交換に役立った。
○　所属する同好会等において話題提供し、関連する情報が得られるよう心掛けている。
○　保護者に CS についてもっと情報発信する必要があるのではないかと感じる。
○　情報発信は、不十分だと感じます。保護者でも知らない人が多い。
○　地域への情報発信が少なく、参加、協力する機会もある限られた人達でしか分からない。メールだけでは、多くの地域住民の協力や学校への関心の高まりも感じられないのではないか。
○　地区の子供会と学校との「つながり」「かかわりあい」など十分とは言えない。
○　「CS だより」をきれいにつくっていただいている。発信はできているが、受信側にどれだけ伝わっているかは不明である。
○　「CS だより」による情報発信については、活動報告に加え、地域住民の協力要請などについてキャッチーな紙面づくりが望まれる。
○　どれだけ発信したかが重要ではなく、どのような効果が得られたのかの視点で評価したい。

＜評価項目４＞　今年度の取組の評価をふまえた来年度の目標（取組の重点）

○ 「学校を好きにさせるにはどうしたらよい？」と第 3 回協議会で話し合いましたが、とても大切なことだと思いますので、これに向かってできる最大の努力をしたいと思います。
○ 子供たちが学校に楽しく通えるよう、保護者、地域の人たちはサポートし、学校側は指導、支援を行っていく。伊佐見小学校が好き！！を 100%にする。目指す。
○ 助け合う心、認め合う心（分かり合う心）を育てる。
○ グランドデザインを十分に理解した上での意思展開を心掛けたい。
○ 今年度の学校教育目標を発展させられるような支援・提案ができる運営を目標としたい。とりわけ「『みとめあう』ちがいを認め、生かしあう子」について（初等教育の中では難しいと思うが）児童の（とりあえず）得手、（次にできれば）不得手を個々に認識させ、また、他の児童に認めさせることで、人として成長させられるのではないかと思う。このことにより他の〈目指す子供像〉への相乗効果も期待できると考えられる。
○ 子供のことを第一に考えながら、いかに保護者や地域を巻き込んでいくかを考えたい。
○ 各委員が正しい情報を発信し、協力してくださる方の輪を大きくする。協力者を増やす。
○ せっかくさまざまな立場の方が集まっている協議会なので、それを強みとした活動を増やしていけたらと思います。

（様式１）

令和６年度　学校運営協議会自己評価表

浜松市立（伊佐見小）学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

保護者と学校の教育活動についての情報を共有しながら、子供たちのことを第一に考えた意見交換を行い、熟議を進めていくとともに、委員同士の信頼関係を深めていく。
・本年度に引き続き、ＣＳボランティアの活動を「子供たちの成長のために必要な活動」と捉え、さらに人材確保を進めるとともに、活動内容も広げていく。

＜評価項目１＞　学校運営の基本方針について熟議することができたか。

＜評価項目２＞　承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

＜評価項目３＞　協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

＜評価項目４＞　今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

令和６年５月１４日

浜松市立伊佐見小学校

夢をはぐくむ学校づくり推進協議会

代表　村上　昇市　様

浜松市立伊佐見小学校運営協議会

会長　　伊与田　尚志

夢育やらまいか事業に対する意見書

令和６年５月１４日に開催した学校運営協議会において、下記の意見を議決しましたので報告します。

記

１　学校運営の基本方針を具現化するための意見

①　伊佐見地区は、自然が豊かである。子供たちに、地区の自然の良さを、体験を通して感じてほしい。

⇒ 地域の方を講師として招き、３・５年生で伊佐地川学習を行う。５年生の総合的な学習の時間では、浜名湖の自然について学習する。
そのための活動が充実するよう講師を招いたり、現地で水生生物の観察や水質調査を行ったりするための用具を購入したりしたい。

②　子供たちの「心の耕し」のために読書活動の推進をしたい。

⇒ 図書を購入し、学校図書館で貸出を行ったり、図書館ボランティアを募り、ボランティアによる読み聞かせをしたりする。また、図書の修繕を行うことで、子供たちの読書環境を整えたい。

学校運営協議会計画について

R7.2.14 現在

	R６			R７			
回	日時	内容	司会・挨拶	日時	内容	司会・ 挨拶	委員の方々に 御参観いただく 学校行事など
1	5/14 （火） 9:10～ 11:00	○授業参観 ・任命書交付 ・自己紹介 ・会長、副会長選出 【熟議】 ・学校運営基本方針について（校長） ・夢育事業に対する意見書について ・ボランティア活動計画について （年間の大まかな計画・１学期の計画） 【連絡】 ・１５０周年記念行事について	挨拶： 伊代田会長 議長： 伊与田会長	5/14 （水） 9:10～ 11:00	○授業参観 ・任命書交付 ・自己紹介 ・会長、副会長選出 【熟議】 ・学校運営基本方針について（校長） ・夢育事業に対する意見書について ・ボランティア活動計画について （年間の大まかな計画・１学期の計画） 【連絡】 ・１５０周年記念行事について	挨拶： 議長：	○入学式 ※６月 学校評価 アンケート①
2	7/12 （金） 9:10～ 11:00	○授業参観 【熟議】 ・≪１学期の様子と２学期に向けて≫ 学校評価アンケートをもとに ・児童の送迎について 【報告】 ・学校支援活動（ボランティア活動）について 【連絡】 ・１５０周年記念行事に向けて	挨拶： 伊代田会長 議長： 中村委員	7/16 （水） 9:10～ 11:00	○授業参観 【熟議】 ・子供たちの良いところ、課題について ～１学期学校評価アンケートをもとに～ 地域と学校が、子供の実態を共有し、２学期以降の必要な支援について考える。 【報告】 ・学校支援活動（ボランティア活動）について ・１５０周年記念行事について	挨拶： 議長：	※１１月 学校評価 アンケート②
3	12/11 （水） 9:10～ 11:00	【熟議】 ・≪２学期の様子と３学期に向けて≫ 学校評価アンケートをもとに 【報告】 ・学校支援活動（ボランティア活動）について 【連絡】 ・伊佐見小学校学校運営協議会の評価について	挨拶： 伊代田会長 議長： 古橋副会長	12/11 （木） 9:10～ 11:00	【熟議】 ・目指す学校像を具現化するために できること、必要なことについて 「安心して　精一杯学び合える活力ある学校・伊佐見地区のシンボルとして地域を繋ぐ学校」を目指して学校・家庭・地域ができることについて考える。 【報告】 ・学校支援活動（ボランティア活動）について ・１５０周年記念行事について	挨拶： 議長：	○光のシンフォニー ○運動会 ２学期の児童の様子の参観は、各行事で行う
4	2/14 （金） 9:10～ 11:30	○授業参観 【熟議】 ≪本年度のまとめと来年度に向けて≫ ・Ｒ７学校運営基本方針について ・Ｒ７教育計画について ・Ｒ６学校運営協議会の評価について ・Ｒ７学校運営協議会の取組について 【報告】 ・R6 夢育やらまいか事業について ・学校支援活動（ボランティア活動）について 【連絡】 ・Ｒ７の協議会の会の持ち方について ・Ｒ７学校運営協議会委員について ・６年生を送る会の御参観について ・卒業式・入学式の御参列について	挨拶： 伊代田会長 議長： 小粥委員	2/13 （金） 9:10～ 11:30	○授業参観 【熟議】 ≪本年度のまとめと来年度に向けて≫ ・Ｒ８学校運営基本方針について ・Ｒ８教育計画について ・Ｒ７学校運営協議会の評価について ・Ｒ８学校運営協議会の取組について 【報告】 ・R7 夢育やらまいか事業について ・学校支援活動（ボランティア活動）について 【連絡】 ・Ｒ８の協議会の会の持ち方について ・Ｒ８学校運営協議会委員について ・６年生を送る会の御参観について ・卒業式・入学式の御参列について	挨拶： 議長：	○６年生を送る会 ○卒業式

今後の状況により、変更することがあります。